

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

*** 東京天文台 100周年記念誌資料―その3-9-8― (188cm光望遠鏡組立て工事写真)**

アーカイブ新聞第801号(2015年5月15日)に「東京天文台100周年記念誌作成時の資料―その3-9-7― (188cm光望遠鏡ドーム工事写真)」という記事を書いた。今回は188cm望遠鏡組立て時の写真である。東京天文台100周年記念誌作成時の資料Ⅲにあったもので、この種の写真は天文月報に掲載されたりして珍しいものではないが、オリジナルである。しかしそれほどの枚数はない。まず、望遠鏡をドーム内に吊り込むためのクレーンがドーム脇に立っている写真である(写真1、2、3、4)。



写真1(1960年4月6日)



写真2 (1960年4月15日)



写真3(1960年4月15日)



写真4(1960年4月14日)

写真4では手前に大きな荷物を積んだトラックが見える。写真5は極軸がドームスリッ

トから吊り込まれる写真である。写真 6 は極軸据付けの様子である。



写真 5



写真 6 極軸の組み付け

写真 7 はバランスウエイトの吊上げが始まる場所、写真 8 はバランスウエイトがドームスリットに入る様子である。



写真 7



写真 8

この資料の中にある 188 cm 望遠鏡の組上げ写真は少なく、次に登場するのは、極軸にバランスウエイトが取り付けられた様子（写真 9）である。188 cm 望遠鏡はイギリス型の赤道儀なので極軸の片側に望遠鏡鏡筒、そしてもう一方にバランスウエイトが取り付けられる。写真 9 の状態ではまだ望遠鏡鏡筒が取り付けられていないため、バランスウエイトの下には大きな角材が積まれている。この作業中ではドームスリットは真南に向いていることが、極軸がスリット巻き上げ機構の中央に向いていることから分かる。

望遠鏡本体を吊り込む様子の写真は今回の資料の中にはないが、そのような記念碑的な写真がないはずはないので、この資料整理のどこかの時点では発見されるであろう。

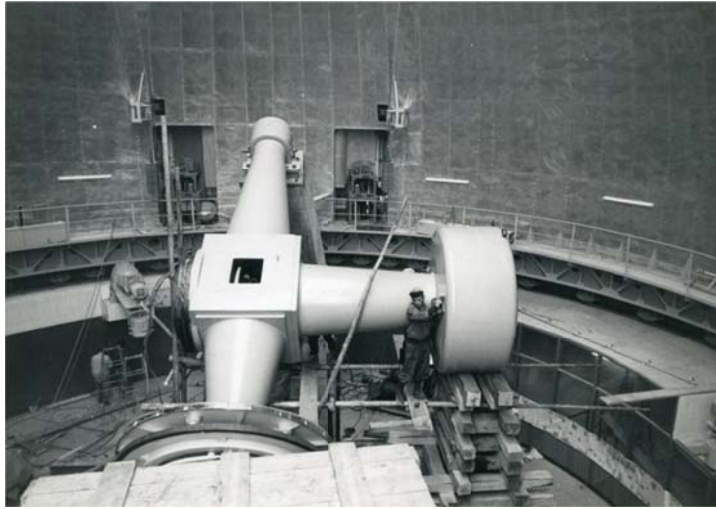


写真 9

次の写真 10、11、12 は、すでに組上がった 188 cm 望遠鏡の写真になる。



写真 10



写真 11



写真 12



写真 13

写真 12 には、188 cm 望遠鏡の操作卓が手前に写っており、写真 13 は、その操作卓で望

遠鏡を操作している様子である。

写真 14 は、188 cm 望遠鏡の鏡筒をその先端部から見たところである。

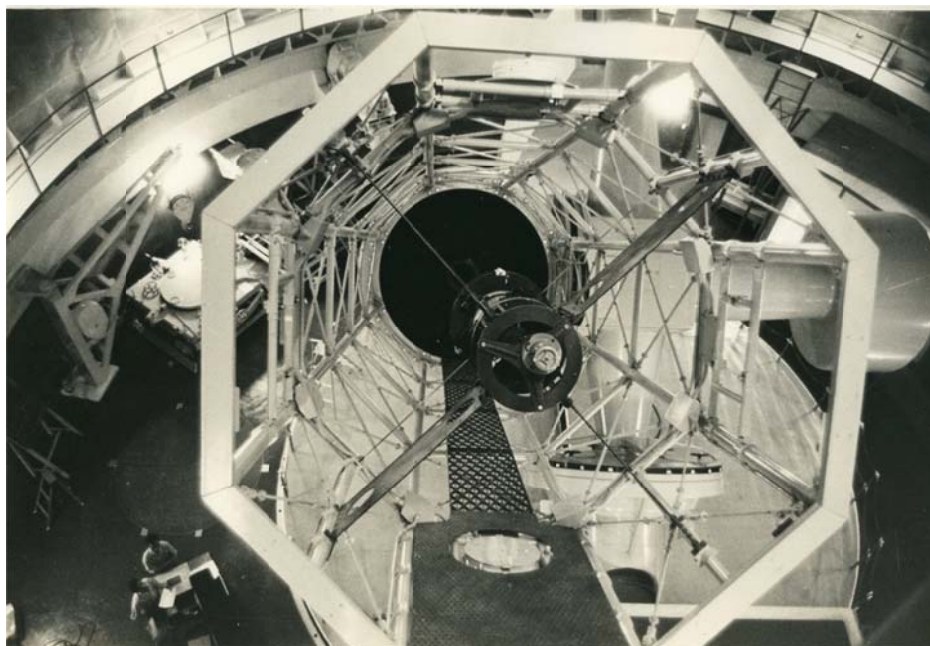


写真 14

写真 14 で見るように、188 cm 望遠鏡の鏡筒は 8 角形をしている。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp